

平成28年2月 全国百貨店売上高概況

平成28年3月18日

I. 概況

1. 売上高総額	4,446億円余
2. 前年同月比	0.2% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	82社 237店 (平成28年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,004,508㎡ (前年同月比:-1.4%)
5. 総従業員数	76,143人 (前年同月比:-2.1%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 2.7%、8-10月 2.9%、9-11月 0.9%、 10-12月 0.3%、11-1月 -1.4%、12-2月 -0.5%

[参考] 平成27年2月の売上高増減率は1.1% (店舗数調整後)

【特徴】

2月は温暖な気候と、閏年による営業日一日増などを要因に客足が好調に推移。降水量の多さを払拭して0.2%増と2か月ぶりにプラスを記録した。

地区別では、東京(+2.7%)、京都(+2.4%)、福岡(+1.3%)、神戸(+0.3%)、仙台(+1.4%)がリード役となり10都市計で前年を確保(+0.8%)。なお、九州(+1.9%)、中部(+0.2%)、四国(+0.3%)の健闘もあり、10都市以外の地区計でもこれまでのマイナス幅を縮小(-1.0%)。

商品別では主要5品目のうち、シェアの高い衣料品が天候条件を受けて伸び悩む一方、身のまわり品(+0.1%/3か月連続プラス)、雑貨(+7.9%/11か月連続プラス)、食料品(+1.8%/3か月連続プラス)がこれをカバーした。

細分類では前月に続き化粧品が全18地区で前年確保。17.7%増と11か月連続の増勢を保ったことに加え、美術・宝飾・貴金属もプラス(2か月ぶり)に転じた。また、バレンタイン商戦の活況から菓子も2.4%増を記録するなど、好調商材を伸ばす百貨店の強みを生かした。

訪日外国人動向は、売上高18.7%増(約183億円)、購買客数40.7%増(約25万人)とそれぞれ37か月連続プラス。過去最高を記録した消耗品シェア(約27%)の高まりなどから購買単価は低下したものの、リピート客増を含む購買品目の拡がりが見られる。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇日本付近は冬型の気圧配置が長続きせず全国的に気温の変動が大きかった。降水量は全国的に多く、北日本日本海側ではかなり多くなった。また、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、気温は全国的に平年を大幅に上回り各地で春一番が吹いた。日本海側の月降雪量は全国的に少なかった。

(2) 営業日数増減 28.6日(前年同月比+1.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(〃 ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数138店舗)

①増加した：40店、②変化なし：45店、③減少した：53店

(5) 2月歳時記(バレンタインデー、春節、節分、マザーニース)の売上(同上/有効回答数110店舗)

①増加した：49店、②変化なし：43店、③減少した：18店

全国百貨店 売上高速報 2016年02月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	444,674,314	100.0	0.2 (-0.2)
10都市	301,148,836	67.7	0.8
札幌	11,677,841	2.6	-2.3
仙台	6,032,486	1.4	1.4
東京	120,567,786	27.1	2.7
横浜	25,449,170	5.7	-1.4
名古屋	27,416,800	6.2	-1.9
京都	17,746,799	4.0	2.4
大阪	56,205,149	12.6	-0.5
神戸	11,591,722	2.6	0.3
広島	9,355,308	2.1	-0.8
福岡	15,105,775	3.4	1.3
10都市以外の地区	143,525,478	32.3	-1.0 (-2.3)
北海道	2,174,006	0.5	-8.7
東北	7,487,652	1.7	-1.3
関東	65,411,918	14.7	-1.4
中部	11,190,028	2.5	0.2
近畿	18,862,748	4.2	-3.2
中国	10,082,348	2.3	-1.0
四国	7,289,048	1.6	0.3
九州	21,027,730	4.7	1.9 (-6.8)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	444,674,314	100.0	0.2 (-0.2)
紳士服・洋品	25,879,877	5.8	-4.5 (-5.0)
婦人服・洋品	85,109,972	19.1	-5.8 (-6.4)
子供服・洋品	10,455,708	2.4	-1.1 (-1.4)
その他衣料品	9,884,131	2.2	-2.2 (-3.1)
衣 料 品	131,329,688	29.5	-4.9 (-5.5)
身のまわり品	55,494,115	12.5	0.1 (-0.4)
化粧品	34,524,965	7.8	17.7 (17.5)
美術・宝飾・貴金属	25,772,980	5.8	3.7 (3.3)
その他雑貨	18,009,807	4.1	-2.1 (-3.3)
雑 貨	78,307,752	17.6	7.9 (7.3)
家 具	5,581,044	1.3	4.0 (2.7)
家 電	1,291,547	0.3	-28.1 (-28.2)
その他家庭用品	14,030,228	3.2	-0.9 (-1.4)
家 庭 用 品	20,902,819	4.7	-1.9 (-2.6)
生 鮮 食 品	22,268,523	5.0	-0.9 (-1.1)
菓 子	50,268,468	11.3	2.4 (2.2)
惣 菜	26,029,463	5.9	1.8 (1.6)
その他食料品	33,291,169	7.5	2.6 (2.3)
食 料 品	131,857,623	29.7	1.8 (1.6)
食 堂 喫 茶	12,213,167	2.7	-2.0 (-2.3)
サ ー ビ ス	4,751,094	1.1	-3.7 (-3.9)
そ の 他	9,818,056	2.2	4.6 (4.4)
商 品 券	8,701,336	2.0	-4.5 (-4.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.8% (2か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-1.0% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.8	0.5	2か月ぶりプラス
札幌	-2.3	-0.1	3か月ぶりマイナス
仙台	1.4	0.0	3か月連続プラス
東京	2.7	0.7	11か月連続プラス
横浜	-1.4	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	-1.9	-0.1	2か月連続マイナス
京都	2.4	0.1	7か月連続プラス
大阪	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
神戸	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
広島	-0.8	0.0	4か月連続マイナス
福岡	1.3	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-1.0	-0.3	4か月連続マイナス
北海道	-8.7	0.0	10か月連続マイナス*
東北	-1.3	0.0	4か月連続マイナス*
関東	-1.4	-0.2	9か月連続マイナス
中部	0.2	0.0	4か月ぶりプラス
近畿	-3.2	-0.1	4か月連続マイナス
中国	-1.0	0.0	2か月連続マイナス*
四国	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
九州	1.9	0.1	4か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が11か月連続、身のまわり品、食料品が3か月連続のプラスとなった。また、衣料品が4か月連続、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が11か月連続、菓子が3か月連続、その他食料品が2か月連続、美術・宝飾・貴金属、家具、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	-4.5	-0.3	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.8	-1.2	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	4か月連続マイナス
その他衣料品	-2.2	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	-4.9	-1.5	4か月連続マイナス
身のまわり品	0.1	0.0	3か月連続プラス
化粧品	17.7	1.2	11か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.7	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-2.1	-0.1	2か月連続マイナス*
雑貨	7.9	1.3	11か月連続プラス
家具	4.0	0.0	2か月ぶりプラス
家電	-28.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-0.9	0.0	3か月ぶりマイナス
家庭用品	-1.9	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-0.9	0.0	23か月連続マイナス*
菓子	2.4	0.3	3か月連続プラス*
惣菜	1.8	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	2.6	0.2	2か月連続プラス*
食料品	1.8	0.5	3か月連続プラス
食堂喫茶	-2.0	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	-3.7	0.0	8か月連続マイナス
その他	4.6	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	-4.5	-0.1	60か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>